訓練カリキュラム

訓練実施機関名: _____

訓練の種類	☒ 基礎コース (05 介護福祉分野) ☐ 実践コース ()	就職を想定する職業・職種 (※基礎分野の場合は記載不要)			
建設人材育成コース (※基礎コースのみ)	☒ 職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	託児サービス支援付訓練コース			
訓練科名	保育士科(職場復帰) ※40文字以内で記入してください。	保育士			
募集期間(予定)	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
選考日(予定)	平成 年 月 日				
選考方法	☒ 面接 ☒ 筆記試験 ☐ その他 ()				
選考結果通知日	平成 年 月 日				
訓練期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (2 か月)	(訓練日数 日)			
訓練時間	時 分 ~ 時 分	訓練定員 名			
訓練対象者の条件	保育士資格有資格者				
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	☐ 新規学校卒業者 ☐ 被災者	☐ ニート等の若者 ☐ 外国人			
訓練目標 (仕上がり像)	保育園への職場復帰に向けて、園内におけるコミュニケーション能力やビジネスマナーの向上及び保育園で働くために知っておくべき労働法や社会保障の知識を有し、保育士の魅力やワークライフバランスの理解を深め、これまでの経験等を踏まえた主体的な就職活動を目指す。また、保育園において児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことができる。				
訓練修了後に取得 できる資格	名称 () 認定機関 ()	☐ 任意受験			
	名称 () 認定機関 ()	☐ 任意受験			
	名称 () 認定機関 ()	☐ 任意受験			
	名称 () 認定機関 ()	☐ 任意受験			
	名称 () 認定機関 ()	☐ 任意受験			
訓練概要	職業能力の基礎となるコミュニケーション力やビジネスマナー、保育及び子育て支援に関する知識・技能を身につける。				
訓練内容	科目	科目の内容	訓練時間		
	ビジネス テクニ ック	① 社会保険・年金	知っておきたい社会保険(公的医療保険、労働者災害補償保険、雇用保険、国民年金、厚生年金、企業年金)、マイナンバーの概要	3時間	
		② ビジネスマナー	ビジネスマナー(第一印象、あいさつ、表情、身だしなみ、態度、言葉遣い)、電話応対、来客・保護者応対、保育士としての自覚、保育士としての心構え、クレーム対応	18時間	
		③ 職業倫理	ハラスメント、個人情報の取扱い、SNS利用の注意点	3時間	
		④ 健康管理	生活リズムと健康を整える、働く人の健康管理、心の健康管理、ストレスコントロール(ストレスの対策、回避方法)、感情のコントロール	6時間	
		ワークライフバランス	働く人を守る労働法、育児・介護休業法(短時間勤務制度)、子育て支援法、家族機能と役割分担	3時間	
		パソコン操作	パソコンの起動・終了、キーボード操作、日本語入力、Webブラウザの操作、電子メールの操作、タブレット操作	18時間	
		コミュニケーション	⑤ コミュニケーション(聴き方や話し方)	自己概念、好き・嫌い(価値観)、思い込みや先入観への気づき、聴き方(傾聴力)、話し方(自分も相手も大切に表現)の向上	6時間
			⑥ 園内におけるコミュニケーション	職場における報告連絡相談、論理的な思考による適切な伝え方の向上、保育者と子・保育者と保護者・園内での保育者に係るコミュニケーション、保護者との連携	12時間
		就職 活動 計画	⑦ キャリア・プランを踏まえた就職活動の進め方	就職活動の全体、キャリア形成と就職対策の関連、就職活動を進めるにあたっての心構え	3時間
			⑧ 保育士の求人動向	保育士の求人動向・保育業界の近況とポイント	6時間
	⑨ 応募書類		応募書類を作成する意義、履歴書・職務経歴書のポイント、志望動機・自己アピールの重要性、送付の際の留意点	3時間	
	⑩ 面接対策		面接の目的と採用者の評価ポイント、面接の準備とマナー	3時間	
	⑪ 求人情報等の収集		求人票の見方・ポイント、求人票の検索・収集、企業情報収集、情報収集の習慣化	3時間	
	職業 生活 設計	⑫ 訓練受講の動機、今後の目標と習得すべき能力	就職に向けた訓練受講の意義、働く力を高めるスキル(専門能力以外)の必要性、今後の目標と習得すべき能力	3時間	
		⑬ 自己理解	自分の特徴などを見つめなおす就業経験の棚卸し、自分の強み、価値観の振り返り	3時間	
		⑭ 仕事理解	保育士に求められるスキル、職業意識と勤労観、保育職の魅力	3時間	
		⑮ 職業・生活設計	職業・生活の振り返りと今後、新ジョブ・カード制度の概要・目標設定票の作成	3時間	
	学科	保育基礎	最新の保育事情、新保育所保育指針、発達心理学、衛生管理と食育、食物アレルギー、保育技術、遊びの技術、障害児保育、社会的養護	26時間	
		安全衛生	安全管理、緊急時の対応と応急手当、SIDS(乳幼児突然死候群)	8時間	
実技	保育技術・遊びの技術	調乳、授乳、おむつ交換、抱っこ仕方などの基本的な技術、うた遊び、手遊び、ことば遊び、絵本・紙芝居(選び方と読み方)	30時間		
	事前演習	企業実習の意義・留意事項、指導計画の作成と実践	6時間		
	振り返り演習	観察に基づく保育理解、指導計画の観察・記録・評価、企業実習後における自己の課題の明確化	6時間		
企業実習	☐ 実施しない ☒ 実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	20時間			
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	①「近年の保育をめぐる状況とワークライフバランス」〇〇氏(株〇〇)1.5H ②「保育リーダーとしての役割を担う」〇〇紙(保育士)1.5H	(能開講習) 3時間		
	【職場見学】	①「保育園の職場」(株〇〇)6H ②「認定こども園の職場」(株〇〇)6H	12時間		
訓練時間総計	210時間	職業能力開発講習 102時間 ビジネステクニック 51時間 ビジネスヒューマン 18時間 就職活動計画 18時間 職業生活設計 12時間 職場見学等 3時間 学科 34時間 実技 42時間 企業実習 20時間 職場見学等 12時間			
受講者の負担する費用	教科書代	#####円	合計 #####円		
	その他 ()				
	備考 (企業実習先への交通費、細菌検査及び健康診断は実費)				
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	☒ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する			
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫				
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫				

※1 企業実習を予定している場合は、様式第10~12号を作成のうえ提出してください。
 ※2 様式第6号の「日別計画表」を添付してください。
 ※3 訓練推奨者欄には、特に訓練を推奨する対象がある場合に、当てはまるもの全てのチェック欄(□)に✓を記入してください。
 「その他」の場合は、「訓練対象者の条件」欄に内容を記入してください。特になし場合はチェックは不要です。
 ※4 「職場体験」、「職業人講話」、「職場見学」については、それぞれの時間数が分かるように記入してください。
 ※5 訓練時間には、キャリアコンサルティング等の時間は含まれませんので、除いて記入してください。

訓練カリキュラム(企業実習用)

訓練実施機関名:

カリキュラム番号:

訓練科名	保育士科(職場復帰)			
企業実習での 訓練目標	実際の保育現場における実践を通じ、座学で学び直した保育技術や遊びの技術を踏まえた保育に係る技能等を定着・向上させる。			
訓練 の 内 容	科目	科目の内容	訓練時間	
	実 技	保育実習	保育内容の観察、調乳、授乳、おむつ交換、抱っこ、うた遊び、手遊び、リズム遊び	19時間
	その他	安全衛生	危機管理、事故防止	1時間
	訓練時間総合計		20時間	

様式3-3-3 職業能力証明(訓練成果・実務成果)シート (求職者支援訓練用)

訓練番号

訓練科名 保育士科(職場復帰)

訓練受講者氏名

上記の者の訓練期間における当社としての職業能力についての評価は、以下のとおりです。

平成 年 月 日

教育訓練実施機関
所在地

就職支援責任者 氏名

印

名称

訓練実施施設の責任者 氏名

印

I 訓練期間・訓練目標

訓練期間	訓練時間	訓練目標(仕上がり像)
平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日	210時間	保育園への職場復帰に向けて、園内におけるコミュニケーション能力やビジネスマナーの向上及び保育園で働くために知っておくべき労働法や社会保障の知識を有し、保育士の魅力やワークライフバランスの理解を深め、これまでの経験等を踏まえた主体的な就職活動を目指す。また、保育園において児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことができる。

II 知識、技能・技術に関する能力 (「知識、技能・技術に関する評価項目」ごとに、該当する欄に○を記入)

(1) 科目評価

A:到達水準を十分に上回った B:到達水準に達した C:到達水準に達しなかった(評価は、試験結果等に基づき記入されたものです)

科目名	評価			知識、技能・技術に関する評価項目	コード
	A	B	C		
職業能力開発講習	①社会保険・年金			(1) 社会保険、労働保険の概要を知っている	G39#010182
				(2) マイナンバー制度の概要を知っている	自社作成
	②ビジネスマナー			(1) 職場におけるふさわしい身だしなみを知っている	JC
				(2) 状況に応じた適切な敬語の使い分けができる	JC
				(3) 電話の用件の内容を判断できる	K200101
				(4) 来訪者・保護者・子どもに対する、礼儀正しい対応(お辞儀、挨拶、言葉遣い)ができる	JC
				(5) 社会人としての自覚・保育士としての心構えを知っている	自社作成
				(6) クレーム・トラブルへの迅速な対応ができる	引用元4
	③職業倫理			(1) 法令、就業規則などコンプライアンス上のルールを知っている	00C003L11
				(2) 個人情報保護に関するルールを理解し、取り扱い方を知っている	H000601
	④健康管理			(1) 事故防止のため心身の健康管理をすることを知っている	B002101
		ワークライフバランス			(1) 労働関係法制度を知っている
				(2) 育児・介護関係法制度を知っている	自社作成
				(3) 仕事における家族機能と役割分担を知っている	引用元1
パソコン操作			(1) スタンバイ、休止、再起動及び電源切断操作について知っている	引用元2	
			(2) キーボード操作、日本語入力操作ができる	引用元2	
			(3) Webブラウザの基本操作、設定操作ができる	引用元2	
			(4) 電子メール・メーラーの基本操作ができる	引用元2	
			(5) タブレット端末の基本操作、設定操作ができる	自社作成	
⑤コミュニケーション(聴き方や話し方)			(1) 周囲と積極的にコミュニケーションをとり、友好的な人間関係を構築することができる	00C006L11	
			(2) 状況や目的に応じた効果的な聴き方ができる	引用元3	
			(3) 相手の価値観や状況、目的に応じた話し方ができる	引用元3	
			(4) 異なる価値観の人とも互いの立場等を理解した上で対応ができる	引用元3	
⑥園内におけるコミュニケーション			(1) 正確にホウレンソウ(報告・連絡・相談)を行うことができる	JC	
			(2) 自分の意見や主張を筋道立てて相手に説明することができる	JC	
			(3) 子・保護者・保育士間での円滑なコミュニケーションの取り方を知っている	引用元4	
			(4) 保護者との関係構築・連携の仕方を知っている	引用元4	
学科	保育基礎			(1) 保育制度の動向を踏まえた、最新の保育事情や各自治体の状況、今後の保育施策について知っている	引用元4
				(2) 新保育所保育指針内容や指針に基づく保育士の役割について知っている	引用元4
				(3) 子どもの発達の過程や傾向を理解した対応方法や年齢や経験に応じた発達段階について知っている	引用元4
				(4) 食中毒の予防等の衛生管理、離乳食、食物アレルギー、食育について知っている	引用元4
				(5) 調乳、授乳、おむつ交換、抱っこの方法や重要性について知っている	引用元4
				(6) うた遊び・手遊び・ことば遊び、絵本・紙芝居の選び方・読み方の意義や重要性について知っている	引用元4
				(7) 発達障害への理解や配慮の必要な子どもに対する保育のあり方について知っている	引用元1
				(8) 社会的養護の現状や社会的養護を通じた家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉について知っている	引用元5
安全衛生			(1) 保育所における事故防止・感染症予防等の安全管理について知っている	引用元4	
			(2) 緊急時の対応、こどもの病気・怪我の応急手当の方法について知っている	引用元4	
実技	保育技術・遊びの技術			(1) 調乳、授乳、おむつ交換、抱っこの基本的な手法ができる	引用元4
				(2) 多様な遊びの設定や環境整備、雰囲気づくりができる	引用元4
	事前演習			(1) 保育実習の意義・目的を明確にし、実習施設における子どもの人権や守秘義務に配慮できる	引用元5
				(2) 実習における指導計画を作成し、記録することができる	引用元5
	振り返り演習			(1) 指導計画を作成・実践し、観察に基づく記録の作成・評価をすることができる	引用元4
				(2) 企業実習を踏まえ、自己の課題を明確化することができる	自社作成
保育実習(企業実習)			(1) 実際の保育現場で調乳、授乳、おむつ交換、抱っこを適切に行うことができる	自社作成	
			(2) 実際の保育現場でうた遊び、手遊び、リズム遊びや絵本、紙芝居の読み聞かせを実践することができる	自社作成	
			(3) 衛生管理、事故予防の対応ができる	自社作成	
評価項目の引用元(企業横断的な評価基準を活用した場合のみ)					
【引用元1】一般財団法人愛知県現任保育士研修運営協議会 保育分野における中核的専門人材育成「事業報告『現任保育士研修ガイドライン』(文部科学省委託「成長分野等における中核的専門人材育成等の戦略推進」事業 【引用元2】中央職業能力開発協会 コンピュータサービス技能評価試験問題概要 【引用元3】サティファイ コミュニケーション検定出題範囲 【引用元4】株式会社ポピンズ 保育士の再就職支援に関する報告書(平成23年度厚生労働省委託事業) 【引用元5】平成27年3月31日付け雇児発第00331第29号「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」					
(総評・コメント)					
(特記事項)					
(2) 訓練の受講を通じて取得した資格(任意)					
取得日 平成 年 月 日					
(3) 訓練期間中又は訓練終了後に取得した資格(任意) ※訓練と密接に関わる資格のみを記入					
取得日 平成 年 月 日					
(注意事項)					
1 「コード」欄には、「知識、技能・技術に関する評価項目」の典拠にコード又は職業能力評価基準のユニット番号等がある場合に記入してください。					
2 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。					
3 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。					

就職活動計画/職業生活設計 自己評価シート

訓練番号

訓練科名 保育士科(職場復帰)

訓練受講者氏名

各科目の受講前の自己チェックと受講後の自己チェックを行ってください。

A:自信がある B:どちらでもない(わからない) C:自信がない

	科目名	自己評価						チェック項目	
		受講前			受講後				
		A	B	C	A	B	C		
職業能力開発講習	就職活動計画	⑦キャリア・プランを踏まえた就職活動の進め方							(1) 就職活動の流れと心構えのポイントを知っている
		⑧保育士の求人動向							(1) 保育業界の求人動向を知っている
		⑨応募書類							(1) 履歴書と職務経歴書の違いを理解し、職務経歴書の作成ポイントを知っている
									(2) 履歴書等送付の添え状が作成できる
		⑩面接対策							(1) 採用者の評価のポイントを知っている
									(2) 面接の入室等のマナーが実践できる
	⑪求人情報等の収集							(1) 求人票の注意してみるべきポイントを知っている	
	職業生活設計	⑫訓練受講の動機、今後の目標と習得すべき能力							(1) 自身の目的意識や思いを持って職業訓練に取り組むことができる
		⑬自己理解							(1) 自身の持ち味・強み(能力・知識等)を知っている
									(2) 職業経験の棚卸しができ、果たした役割、貢献したことなどを踏まえた職務経歴が作成できる
									(3) 自身の仕事への価値観を知っている
		⑭仕事理解							(1) 保育士として就職するために必要な能力を知っている
									(2) 保育職としての仕事・魅力について知っている
									(3) 保育現場が求める人材要件を知っている
		⑮職業・生活設計							(1) 職業生活設計の意義を知っている
								(2) 自己理解、仕事理解を通じたキャリアプランを作成することができる	